

## PQL-10

## 取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上の注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

カシオ計算機株式会社  
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

## 本機の特長

- センサーにより、温度・湿度を表示
- 生活環境お知らせ機能

## 製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

表示内容：カレンダー表示（月・日・曜日）  
時刻表示（時・分）、午後マーク、温度表示、湿度表示

精度：平均月差±30秒以内

温度計測機能：計測範囲=0°C～40°C \*1  
計測精度=±2°C (0°C～40°C) \*2  
• 1分に1回計測します。

湿度計測機能：計測範囲=10%～90%  
(0°C～49.9°Cにおいて結果表示) \*3  
計測精度=±5% (25°C、60%)  
±10% (5～40°C、10～90%)  
(例 湿度50%の場合、40%～60%となります)  
• 1分に1回計測します。

生活環境お知らせ機能：お知らせアイコン

その他：12／24時間制表示切り替え、コントラスト調整

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、CMOS-LSI

使用温度：0°C～40°C

使用電池：CR2032 1個

電池寿命：約2年

\*1 = • -0.1°C以下、40.1°C以上でも温度計測を行いますが、本機の温度保証範囲外となります。

• -20°C以下は“LO”表示、50°C以上は“HI”表示となります。

\*2 = 温度・湿度表示は時計に内蔵されているセンサーにより、時計内部の温度・湿度を計測／表示するものです。そのため、急激な変化が起きた場合、その温度や湿度を表示するまで（時計内部がその温度や湿度と同じになるまで）約30分程度かかります。なお、計測機能上、本機を冷・暖房器具の送風口の近くで使用しないでください。

\*3 = • 9%以下は“LO”表示、91%以上は“HI”表示となります。  
• 湿度表示は温度が0°C～49.9°Cの範囲外では“—”表示となります。

## ! 安全上の注意

## 絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。

## 絵表示の例

- △ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。
- 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。
- 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

## ! 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

## ! 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

## ! 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## ! 危険

## ボタン型・コイン型電池の誤飲による危険性について

ボタン型電池やコイン型電池は、特に小さなお子様が誤って電池を飲むことがないように、手の届かない所へ置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合、または飲み込んだ恐れがある場合は、ただちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因となります。

## ! 警告

## 袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。

## 電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

## ! 警告

## 使用場所について

本機は医療用電子機器から離して使用（携帯・保管）してください。心臓ペースメーカーなどご使用の方は、本機を胸部（胸のポケット）で使用すると、磁力の影響を受けることがあります。万一異常を感じたらただちに本機を体から離し、医師に相談してください。

## ! 注意

## 分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

## 設置場所について

本機を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。倒れたり、落ちたりしてけがや故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

## 電池について

電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 極性（+と-の向き）に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出してください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行うと、思わぬけがをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。また、使用しないときは電池をはずしておいてください。

## マグネット（磁石）について

本機へキャッシングカードやプリペイドカードなどの磁気カード類、また録音テープ、フロッピーディスクなどを近づけることは避けてください。特に磁気カード類は、マグネット（磁石）の影響を受けると使用できなくなることがあります。

## ご使用上の注意

- 本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、「強い磁気の当たる場所」、「はげしい振動のある場所」での使用や保管および「強いショック」をさせてください。
  - 高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になりますので、暖房器具の近くや直射日光の当たる所では使用しないでください。
  - 浴室など湿気の多い場所では使用しないでください。
  - 以下のようところに本機を置くことは避けてください。
    - テレビの上など（テレビ画面に色むらが起こる場合があります）
    - 時計、キャッシングカード、フロッピーディスク、プリペイドカード、カセットテープの近くなど
  - 極度の静電気により誤った表示をしたり、電子部品が破損する場合があります。
  - 静電気により一時的に液晶の点灯していない部分にじみ現象が発生することがあります。しかし、機能に影響はありません。
  - 本機を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。
  - 汚れは、「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。
  - 液晶表示は、使用温度範囲（0°C～40°C）を超えると、表示が見にくくなることがあります。
  - 液晶表示は、見る方向によって表示が見にくくなることがあります。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 電源に関するご注意

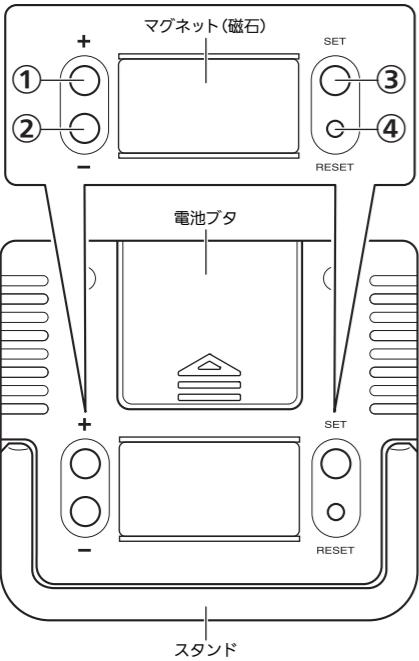
- 電池の残量が残っている場合でも2年に1回は電池を交換してください。
- 電池が消耗しますと一般的に以下のようことが起こります。このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定期的な交換をおすすめします）。
  - 誤動作（時刻のリセット、時刻狂いなど）することがあります。
  - 液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。
  - アナログ時計は「針が遅れたり」「針が止まつたり」します。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池 \* のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることができます。
  - \* モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことです。時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- 電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとてください。

## 各部の名称

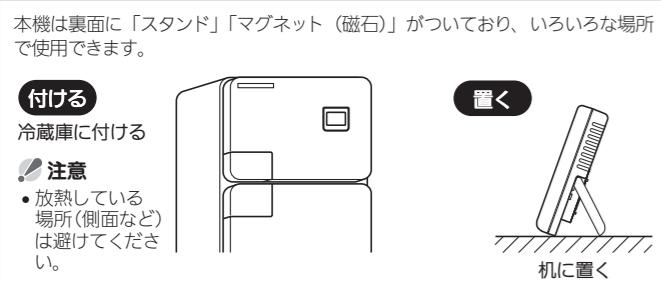
(表面)



(裏面)

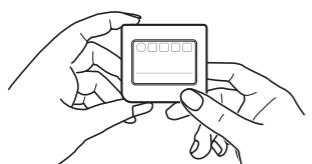


本書の記載	説明
①【+】	時刻や設定を変更するときに押します。
②【-】	時刻や設定を変更するときに押します。
③【SET】	時刻を合わせるときや、設定項目を選ぶときに押します。
④【RESET】	電池を入れたとき（電池交換後も含む）に押します。 正常に動作するように、時計を初期状態に戻します。 ・押しづらい場合は、先端の細いもので押してください。



## 注意

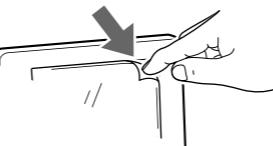
- 本機は必ず手でおさえて操作してください。



本書に記載している時計のイラストは操作説明用です。実際の製品とは異なることがあります。

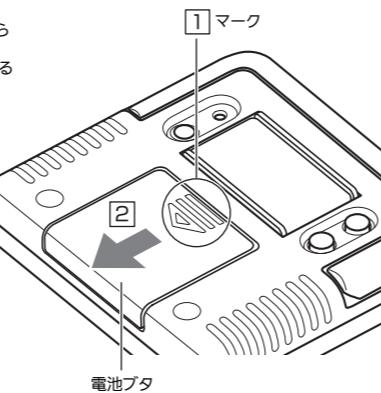
## はじめてご使用になるときは

- ① 時計に表示例シールが貼ってある場合には、シールをはがします。



- ② 電池プラを開けます。

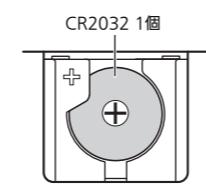
- ① マークのあるところを押しながら
- ② 矢印の方向にスライドして開ける



- ③ 電池を入れます。

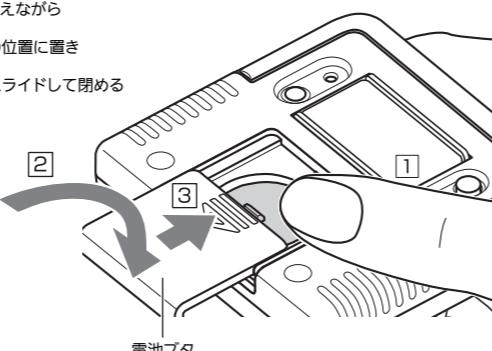
✓ 重要

- ・極性（+と-の向き）に注意して正しく入れてください。
- ・本機で指定されている電池以外は使用しないでください。
- ・電池バネがついているため、電池が飛び出しあやすくなっています。指をおさえてください。

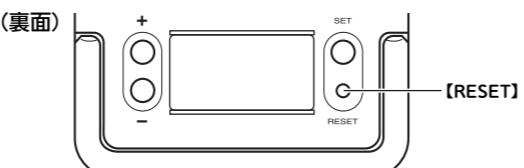


- ④ 電池プラを閉めます。

- ① 電池を指でおさえながら
- ② 電池プラを図の位置に置き
- ③ 矢印の方向にスライドして閉める



- ⑤ 【RESET】を細い棒などで押します（リセット操作）。

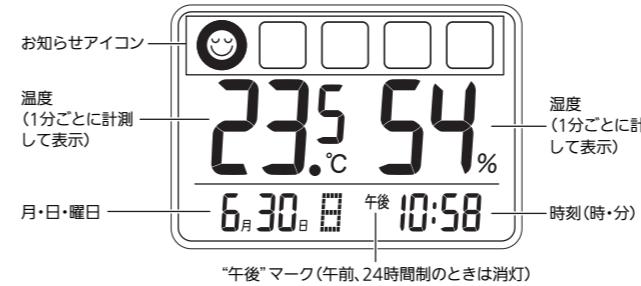


- ・時計が「午後 12:00」から動き始めます。
- ・すでに時計が動いていても、リセット操作を行ってください。

## 電池を交換する

「はじめてご使用になるときは」の手順 2～5 を行ってください。

## 表示について



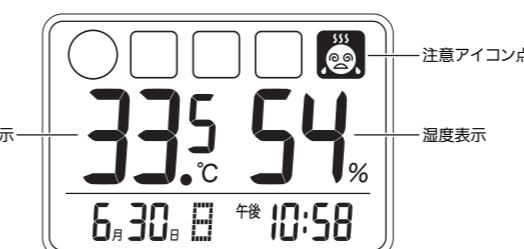
## 温度・湿度の表示と「生活環境お知らせ機能」

温度と湿度の計測データをもとにお部屋の状態を分析して、5つのアイコンでお知らせします。注意が必要な環境になると、4種類の注意アイコンが点灯または点滅して、注意のレベルを2段階でお知らせします。

アイコン点灯 → 注意  
アイコン点滅 → さらに注意

計測機能について

専門的な計測器ではありません。特に湿度計測につきましては、環境温度によって精度に開きがあります。計測機能は、目安としてお使いください。



注意

- ・アイコンは、手動で点灯／消灯できません。各アイコンの設定範囲から外れると、自動的に消灯します。
- ・アイコンが何も点灯しない場合があります（快適とはいえないが、注意アイコンは点灯しない環境です）。

## 各アイコンの意味と説明

アイコン	意味	説明
	快適な状態	原則として、温度 20～28°C・湿度 40～60% の範囲のとき、点灯します。ただし、注意アイコンが点灯する環境では消灯します。
	“風邪引き”注意	風邪ウィルスが活性化しやすい環境のとき、点灯します。
	“乾燥肌”注意	肌乾燥（荒れ）に注意が必要な環境のとき、点灯します。
	“カビ・ダニ”注意	カビ・ダニが発生しやすい環境のとき、点灯します。
	“熱中症”注意	熱中症になりやすい環境のとき、点灯します。

- ・お知らせアイコンは、一般財団法人 日本気象協会との共同企画で開発しております。
- ・一般財団法人 日本気象協会では生活に密着した気象情報を提供しております。詳しくはホームページ <http://tenki.jp/> をご覧ください。
- ・お知らせアイコンは、あくまで目安としてご使用ください（各お知らせアイコンが点灯または消灯していても安全性を保証するものではありません）。
- ・万一、本機能により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社同様一般財団法人 日本気象協会でも一切その責任を負いません。ご使用の際は利用者の責任においてご使用ください。

## ボタンを押して時刻などを設定する

ボタンを押して時刻を設定します。

- ①【SET】を押して、時刻などを修正する状態（セット状態）にします。

修正できる項目が点滅します。  
・セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的に通常表示に戻ります。

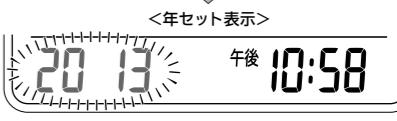
- ②【SET】を押して、修正する項目を選びます。

【SET】を押すごとに、下記の順で修正できる項目が切り替わります。

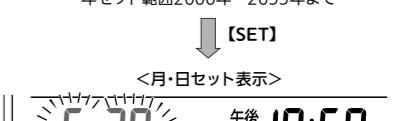
<通常表示>



【SET】



【SET】



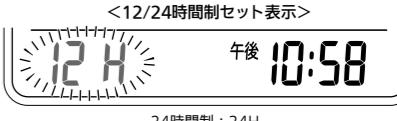
【SET】



【SET】



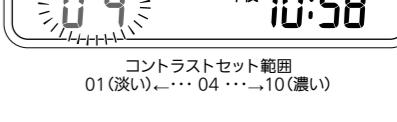
【SET】



【SET】



【SET】



【SET】

- ③【+】または【-】を押して、年月日や時刻などを修正します。

<年セット表示>、<月日セット表示>、<時刻セット表示>のとき

- ・【+】を押す：点滅個所の数字が進みます。
- ・【-】を押す：点滅個所の数字が戻ります。
- ・ボタンを押し続けると早送り／早戻しができます。

<12/24 時間制セット表示>のとき

- ・【+】または【-】を押すごとに、時刻の表示方法（12時間制／24時間制）が切り替わります。
- ・12時間制 午前 10:00 → 10:00 午後 10:00 → 10:00 午後の時刻を表示しているときは、「午後」マークが点灯します。
- ・24時間制 午前 10:00 → 10:00 午後 10:00 → 22:00

- ④【SET】を押して、<通常表示>に戻します。

## 表示の濃さを見やすく調整する

「ボタンを押して時刻などを設定する」の手順 2 で<コントラストセット表示>を選んで調整します。

・【+】を押す：表示濃度が濃くなります。

・【-】を押す：表示濃度が淡くなります。